だんたいしょうかい
団体紹介

CATEGORY
子育て環境日本一

稲荷の家ほっこり

目次

- 医療的ケアの必要なお子さんとそのご家族の居場所「ほっこりちゃん」
  - イベントの開催～季節のイベントから学習会まで～
    - 講師を招いた学習会
    - ほっこりちゃん写真展
    - イベントで楽しいひとき時。家族間士の繋がりも。
    - 健康管理の徹底
- ほっこりちゃんは居場所

医療的ケアの必要なお子さんとそのご家族の居場所「ほっこりちゃん」

「稲荷の家ほっこり」は、京都老人福祉協会が高齢者・児童向けサービスの場として伏見区にて運営されている福祉施設です。一階を高齢者向けサービス、二階を子育て支援スペースとして活用されるやで、毎月一回開催される、医療的ケアの必要なお子さんとその家族が集まる場が「ほっこりちゃん」です。

呼吸器や酸素吸入器、吸引機が必要なお子さん。体調を崩しやすく慢重なケアが必要なお子さん。そんな子どもたちが気軽に集まって、保育スタッフが見守るや、親のお部屋でゆっくりおしゃべりしたり、簡単な工作や手遊びをしたりっ。お子さん、親御さんが交流できる場です。お子さんの集まる施設に行ってみたいけれど、大勢の中にはちょっと…という女流も、是非一緒にほっこり楽しいひと時を過ごしましたんか？

イベントの開催～季節のイベントから学習会まで～

講師を招いた学習会

2020年11月に行われた学習会。支援学校の先生を招き、お話いただく全3回の講座の最終回でした。保護者の方にとってお子さんの進路選択頃のひとつである支援学校とはどんなものなのかという共通のお話に加え、それぞれの回で異なるテーマについて講義されました。

この日のテーマは「身体の動き」。子どもひとりひとりの身体の状態、気になること、悩みも違うので、支援学校に行く前に予め専門の先生にゆっくりお話を聞け、相談できることは保護者の方にとって貴重な機会となりました。

今回参加された利用者さんの方々は、

> 「支援学校がどんな感じなのか口コミなどでは聞きますが、実際に子どもたちと接しておられる先生に気になっている内容を聞くことができました。」
>
> 「専門的に医療的ケアが必要な子どもをみておられる先生に質問ができ、貴重な機会。身体のことを専門とされている先生に、子どもの身体の悩みを相談できてよかったです。」
>
> 「支援学校での取り組み・対応の話を聞くことで、自分の子どもにもそれが合っているかも、今度学校に相談してみよう、と勉強になりました。」

と、有意義な時間を過ごされた様子でした。

「支援学校の外で先生にゆっくりお話を聞く、学校のようすについて教えてもらえるほっこりちゃんのような場所はなかなか他にはありません。」という利用者さんに、みなさんうなずきます。親御さんの悩み・心配事に寄り添ってくれる場所が、ほっこりちゃんです。

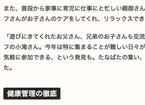
ほっこりちゃん写真展

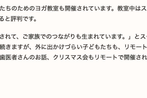
例年地域の多目的スペースなどを借りて、利用者さん、行政や関係機関の方々をお招きして活動を知ってもらうことを目的として開催されているパネル展示会。コロナウイルスの影響により、昨年度はというか見送りかと思われましたが、いつもと場所を変えてカフェや病院の待合室など、地域の方の目にふまるところに写真展として開催することになりました。

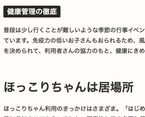
ちいろばのマスター大山さんは、知り合いであるほっこりちゃんのスタッフさんに写真展の開催場所について相談を受け、「でほうちややりましょう！」と声を掛けられました。

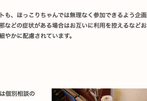
「ほっこりちゃんという場所があることで、医療的ケアの必要な子どもたちが地域にいることを知ってもらうきっかけになれば。次はデイどもたちも一緒にワークショップしたりもしていいです。」と次回のアイデアも膨らみます。

数年前に撮影した写真に写っているお子さんとそのご家族が来店し、その前で家族みんなで記念写真を撮影されるという場面もあったそうで、「え！そうなんですか。」と、とても嬉しそうにされるスタッフの小清さんの姿が印象的でした。





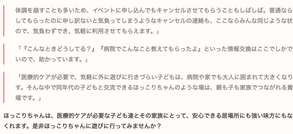




イベントで楽しいひとき時。家族間士の繋がりも。

ほっこりちゃんでは、1年を通じてご家族揃って楽しめるイベントを開催されています。お世話になっている歯医者さんや看護師さん、栄養士さん達とのカフェ交流会、ミニ音楽会やおもちつき。夏には楽しい流しそうめんと水遊び、さらに家族みんなでお出かけできるピクニックやイルミネーションと盛りだくさん。

2019年のクリスマス会に予定していた手作りキャンドルによるイルミネーションは、残念ながら雨で中止に。せっかくの機会にみんなに楽しんでもらおうという気持ちから、急遽思い出スライドショーを作成、上映しました。



また、普段から家事に育児に仕事にと忙しい親御さんたちのための习ガ教室も開催されています。教室中はスタッフさんがお子さんのケアをしてくれ、リラックスできると評判です。

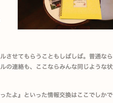
「遊びにきてくれたお父さん、兄弟のお子さんも交流されて、ご家族でのつながりも生まれています。」とスタッフの小清さん。今年は特に集まることが難しい日々が続きますが、外に出かけづらい子どもたちも、リモートなら気軽に参加できる、という発見も。たなばたの美い、歯医者さんのお話、クリスマス会もリモートで開催されました。

健康管理の徹底

普段は少し行くことが難しいような季節の行事イベントも、ほっこりちゃんでは無理なく参加できるよう企画されています。免疫力の低いお子さんもおられるため、風邪などの症状がある場合は出互いに利用を控えるなどお約束を決められて、利用者さんの協力のもと、健康にき心細やかに配慮されています。

ほっこりちゃんは居場所

ほっこりちゃん利用のきっかけはさまざま。「はじめは個別相談の日に参加させてもらいました。医療的ケアの必要なお子さんたちの居場所もあったら、とほっこりちゃんが生まれ、その末末利用を続けています。」とおっしゃる方もいれば、知り合いに紹介してもらったという方も。



みんなそれぞれ事情は違うけれど、利用者の方にとって、ほっこりちゃんはとても大切な場所になっています。

> 体調を崩すことも多いため、イベントに申し込んでもキャンセルさせてもらうことももしばしば。普通なら準備してもらったのに申し訳ないと気負ってしまうようなキャンセルの連絡も、ここならみんな同じような状況なので、気負わずです。気軽に利用させてもらえます。」
>
> 「「こんなとき どうしてる？」「病院でこんなこと教えてもらった」といった情報交換はここでしかできないので、助かっています。」
>
> 「医療的ケアが必要で、気軽に外に遊びに行きづらい子どもは、病院や家でも大人に頼まれて大きくなります。そんな中で同年代の子どもと交流できるほっこりちゃんのような場は、親も子も家族でつながれる貴重な場です。」

ほっこりちゃんは、医療的ケアが必要な子ども達とその家族にとって、安心できる居場所にも頼い味方にもなってくれます。是非ほっこりちゃんに遊びに行ってみませんか？

ほっこりちゃん　リーフレット →

NPO法人子育てサークル紅色でんしゃ
幸せは「なる」のではなく「ある」もの。自分を後回しにしない…

スマイルプレイス
地域の子どもたちは地域のみんなで育てる。子育ての中心スマイ…

Copyright © きょうと地域創生府民会議 All rights reserved.